

登録番号	プロトコール名				
C76060A1	頭頸部癌 放射線併用FC療法				
診療科	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1クールの日数	21日		
審査日	2021年2月22日	所要時間	1440分	適応外使用	■なし □あり
適応病名	頭頸部扁平上皮癌	放射線療法	□なし ■あり		
実施部署	□外来 ■病棟 □その他()				
適応分類	□初発 ■進行・再発 □術後補助 □術前補助 □その他()				
番号	抗がん薬一般名	1日投与量	投与方法	投与日(d1、d8等)	
1	フルオロウラシル	600mg/m ²	div	d1-4	
2	カルボプラチン	70mg/m ²	div	d1-4	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
エビデンスレベル	■治療 (エビデンスレベル □1 ■2 □3 □4 □5 □6)				
ガイドライン文献名	<small> ・NCCNガイドライン Head and Neck Cancers version1.2021 p114 ・Bourhis J, et. al., Concomitant chemoradiotherapy versus acceleration of radiotherapy with or without concomitant chemotherapy in locally advanced head and neck carcinoma (GORTEC 99-02): an open-label phase 3 randomised trial. Lancet Oncol. 2012 Feb;13(2):145-53. doi: 10.1016/S1470-2045(11)70346-1. Epub 2012 Jan 18. ・Denis F,et.al., Final results of the 94-01 French Head and Neck Oncology and Radiotherapy Group randomized trial comparing radiotherapy alone with concomitant radiochemotherapy in advanced-stage oropharynx carcinoma. J Clin Oncol. 2004 Jan 1;22(1):69-76. doi: 10.1200/JCO.2004.08.021. Epub 2003 Dec 2. </small>				
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	70Gy/35frの放射線併用。最大で3コース行う。				

プロトコールに関する解説

本治療は、上咽頭癌を除く頭頸部癌に対する治療として、NCCNガイドライン(Version2.2021)にて、category1で推奨されている。欧州で行われた多施設共同ランダム化比較試験にて、放射線単独療法と比較して、5-FU及びCBDCAを3週間ごとに3コース併用した群は、5年生存率(15% vs 22%)、局所制御率(25% vs 48%)と高い治療効果を示した。Grade3-4の有害事象は30% vs 56%と頻度が高く、慎重なマネジメントが必要である。国内での薬物療法ガイダンス上は、推奨度Bであり、適正な対象の選択を要する。

がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
頭頸部癌 放射線併用FC療法		21日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
day1	① 生理食塩水50mL+パロノセトロン0.75mg+デキサメタゾン6.6mg ② カルボプラチン 70mg/m ² +生理食塩水250mL ③ 生理食塩水50mL(フラッシュ用) ④ フルオロウラシル 600mg/m ² +生理食塩水500mL ⑤ 生理食塩水50mL(フラッシュ用)	点滴 点滴 点滴 点滴 点滴	15分 60分 5分 24時間 5分
day2-4	① カルボプラチン 70mg/m ² +生理食塩水250mL ② 生理食塩水50mL(フラッシュ用) ③ フルオロウラシル 600mg/m ² +生理食塩水500mL ④ 生理食塩水50mL(フラッシュ用)	点滴 点滴 点滴 点滴	60分 5分 24時間 5分
プロトコール 適応時 表示コメント	70Gy/35frの放射線併用。最大で3コース行う。		
照射併用時 照射線量	70Gy/35fr (備考欄:)		